１月の支援事業から

なかよしる一むでは・・・

鍋島小紋の色紙を使って、お母さんと一緒にお雛様を折りました。
おうちに飾ってくださいね♥

なかよしミニ

なかよしミックスでは・・・

保育園の 1.2 歳児の子どもたちの歌やお遊戯を見たり、一緒に踊ったりして楽しみました。

育児講座のご案内

日　時：2 月 25 日(木)　10：00～12：00

テーマ：「お困りの事、悩み事、ちょっと聞いて！」等、ありましたら、お話にお出で下さい

場　所：三光保育園　地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」

※参加ご希望の方は、保育園までご連絡下さい

「シニアサロンぽぽら」に遊びにきませんか

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に 1 回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。

日　時：　2 月 26 日（金）10 時から 12 時

内　容：簡単 cooking！！おいしく会食♥

持ってくる物：エプロン・三角巾

場　所：地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」

電話でお申し込み下さい。　℡　31－6877

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。
お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第 3 火曜日の 14 時～16 時までは、西九大短期大学部教員による食育相談を行っています。　※事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

永原学園地域子育て支援センター

さんこう・ぽぽらだより

2016 年 2 月発行　第 106 号

認定こども園　西九州大学附属三光保育園

TEL：0952-31-6877

2 月の生活目標

・遊んだ後は片付ける
・自分の事は自分でする
・挨拶は目と目を合わせてする
・友達と仲良く遊ぼう
・話は静かに聞きましょう

大雪！

先週、佐賀県は数十年ぶりともいわれる大雪に見舞われました。交通機関がマヒしたり、水道管が破裂して断水するなど、被害もたくさん出て大変でしたね。三光幼稚園も屋根に積もった雪が解け始めた頃、廊下に張った透明の樹脂製の屋根に一度に落下し、パネルがはげ落ちる被害が出ました。幸い、翌日には修繕が完了しましたが、改めて大雪の時の対策に気が付きました。災害はいつ何時起こるかもしれません。身近に起きたことやニュースで話題になっていることを家族で話題にして、次に起きた時や予測される事態には、どんな準備が必要かみんなで考えておく必要があるような気がします。幸い、園は代休日で子ども達に迷惑をかけることなく修繕を終えましたが、登園日だったと思うとぞっとします。

さて、一面銀世界の運動場で、登園してきた数人の年中・年長さんと童心に返って雪合戦に興じて楽しんだのは、若い保育者ばかりではありませんでした。シニアの私たちも子どもたちと本気で遊びました。時には子どもの心に返るのも悪くないですね（＾＾。。）

27 年度のぽぽらの活動も残り少なくなりました。仲良くなったお友達といっぱい遊んで楽しんでください。

（三光保育園長）

「なかよしミックス」に遊びにきませんか！

就園前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して親子で楽しく遊ぶ集いの場です。

★第 11 回目の 2 月は、下記の日程で実施します。

日時　2 月 22 日(月)　10:00～12:00
　　2 月 23 日(火)　10:00～12:00

内容：折り紙製作を楽しむ。お雛様を作りましょう！

場所：地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」

持ってくるもの：コップ

※参加希望の方は事前にお電話で申し込んで下さい。

※電話の受付は、2 月 1 日（月）からです。9 時半～17 時までにお願いします。

2 月の「フリーデイ」について

保育園の支援センターを下記の日程で開放します。お好きな時間にお出かけ下さい。

日時：　2 月 15 日（月）10:00～12:00
　　2 月 29 日（月）10:00～12:00

※事前の予約は必要ありません。

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

子育て便り

「子どもと表現「閉じられる円、頭足人について」

西九州大学短期大学部幼児保育学科　教授　木村安宏

手が前足の役割から開放されて人間の手として機能を獲得するのは、１歳前後です。この頃マーカー、クレヨン、などを持たせ、手を添えてあげると、じきになぐり描きを、楽しむようになります。腕の上下運動により画面に点を「打つ」ことからはじまり、それは無秩序な直線や曲線で埋め尽くします。白い紙が汚れていく過程、そのものが興味の対象であり手品のような不思議さを感じているのかもしれません。これを（錯画）スクリブルといいます。スクリブルも注意してみると、順序性があり、内側から外側への方向性があります。子どもの運動感覚、身体的リズムからくるものでしょうか。

始めの頃のスクリブルに比べ、目と手の制御がしっかりしたものになってくると、スクリブルは次第にスピードを緩めてきます、そしてスクリブルは単独の円に近いものになってきます。やがて発達段階の一つの節目である「円が閉じる」ことになります（３歳前後）。

子どもが初めて紙の上に閉じられた円、円で区切った時、子どもはその中に高い密度を感じます。円で閉じられた内部はモノになります。

さらに円から腕と脚が生えてきます。この形態はすべて、子どもの絵の専門用語で「頭足人」と呼ばれます。

驚くべきことに世界中の子どもはみな言語、習慣、民族、国籍に関係なく同じ姿の人間を描きます。その人間は頭から腕と脚が生えている姿です。

なぜ、この様な共通性のある姿をとるのでしょうか。頭足人という不思議で神秘的な人間表現を１世紀以上にわたって解明しようと研究者たちは謎解きに挑戦してきましたが、依然として未解明のままなのです。

いろいろな仮説はありますが、決定的な解明はされていません。もし解明されるのであれば、２足歩行を始めたころの人類と呼ばれる人達から受け継いだ記憶や成長の階梯の記録を垣間見ることが出来るかもしれません。